

## 一般会計の概要

# 令和2年度

# 白馬村の決算状況

### 決算収支等

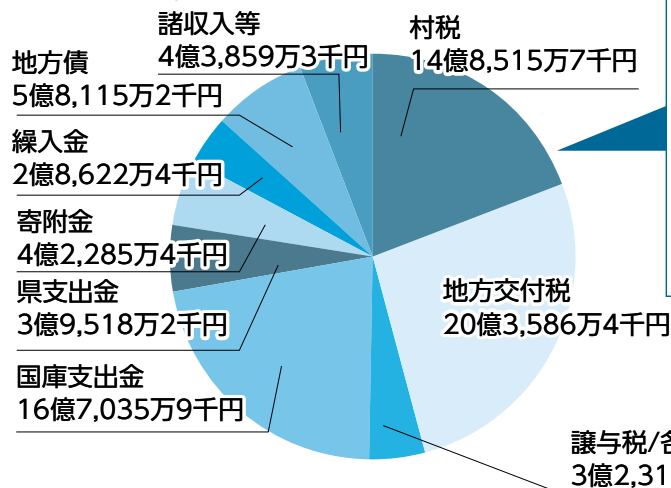
項目	令和2年度(千円)	対前年比(%)
歳入	7,638,563	18.1
歳出	7,524,141	19.3
形式収支	114,422	
翌年度へ繰り越すべき財源	18,525	
実質収支	95,897	
単年度収支	△32,815	
財政調整基金積み立て	130,498	
実質単年度収支	97,683	

歳入 76億3,856万3千円  
 歳出 75億2,414万1千円  
 新型コロナウイルス感染症対策のため久しぶりに歳入歳出ともに75億円を超えた大きな規模となりました。

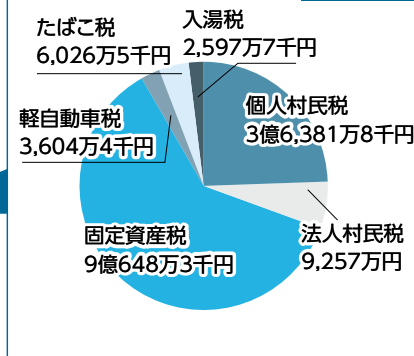
前年度に引き続き財政調整基金(家計でいうところの貯金)から取り崩しをせず、将来の負担に備えるため同基金に1億3,000万円、義務教育施設整備基金に4,000万円の積み立てを行っていません。なお、財政調整基金の年度末残高は、平成以降で過去最高額となっています。

また、健全財政の堅持と公債費抑制のため、新規発行債(新しい借入れ)は元金償還額以下とすることにより、村債現在高も平成25年度決算以来、久しぶりに前年度比で減となりました。

## 歳入 76億3,856万3千円



### 村税内訳



## 歳入の概要

令和2年度の歳入歳出差引額(形式収支)は1億1,442万2千円で翌年度へ繰り越すべき財源1,852万5千円を差し引いた実質収支は9,589万7千円です。そのうち4,800万円を財政調整基金に積み立てを行い、残額の4,789万7千円を令和3年度へ繰り越しました。なお、実質収支から昨年度の実質収支を差し引いた単年度収支は△3,281万5千円、単年度収支に財政調整基金積み立て等を加味した実質単年度収支は9,768万3千円となりました。

村税は、3,700万7千円の減で14億8,515万7千円となりました。なお、入湯税は、主に環境衛生施設の整備(山岳観光安全浄化対策事業など)や観光振興(サイクルツーリズム宣伝・誘客事業などの財源)としています。

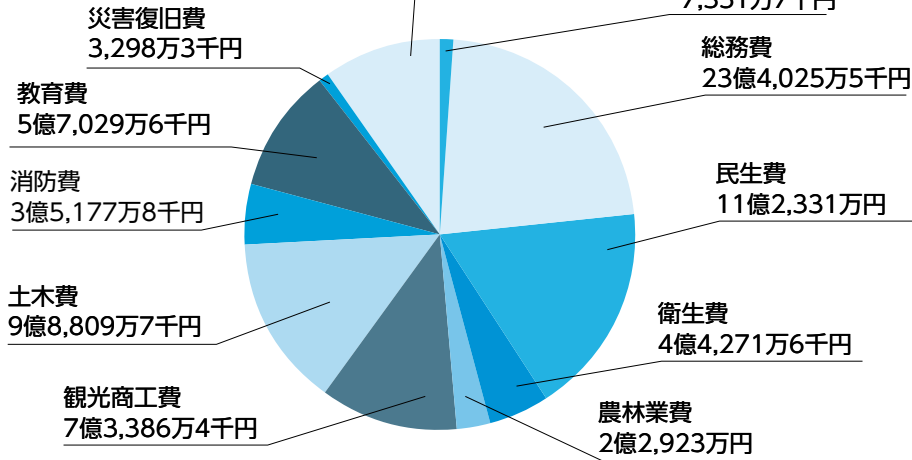
地方消費税交付金は、3,660万5千円の増で2億2,398万7千円となりました。うち社会保障分は1億775万3千円で、心身障害者福祉事業(1,500万円充当)、後期高齢者医療事業(2,500万円充当)、福祉医療費給付事業(1,500万円充当)及び保健予防事業(1,500万円充当)などの財源としています。

普通交付税は808万8千円の増となり、特別交付税は4,884万6千円の増となりました。

特別交付税は市町村の特殊事情に対して交付されるもので、令和2年度は降雪量が例年並みに戻った



## 歳出 75億2,414万1千円



め、除雪経費の算定額が前年度に比べて大幅に増えました。  
 国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対策のため11億2,398万8千円の大幅な増となりました。国庫支出金の主なものは、特別定額給付金給付事業費・事務費8億6,952万2千円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金2億9,308万5千円です。

## 歳出の概要

目的別歳出の状況、性質別歳出の状況を表にまとめました。  
 目的別で見ますと、総務費が新型コロナウイルス感染症対策に係る特別定額給付金事業や財政調整基金積立金などにより9億2,775万7千円の大幅な増加、衛生費が白馬リサイクルセンター整備に係る塵芥処理事業などにより1億2,979万2千円の増加、農林業費が県宮北城南部地区に係るほ場整備事業などにより5,440万4千円の増加、土木費が除雪事業などにより8,275万8千円の増加となっています。一方で、教育費が前年度は学校空調設備設置事業などがあつたため8,240万2千円の減少となっています。

性質別で見ますと、維持補修費が除雪委託料などにより1億6,492万1千円の増加、補助費が新型コロナウイルス感染症対策に係る特別定額給付金や地域支えあいプラスワン消費促進事業補助金などにより9億1,562万5千円の大幅な増加、積立金が財政調整基金や義務教育施設整備基金への積

み立てなどにより1億3,011万5千円の増加となっています。一方で、普通建設事業(投資的経費)が前年度は学校空調設備設置事業などがあつたため1億3,251万2千円の減少となっています。主な投資的経費は、新防災情報配信システム整備事業1億7,448万9千円、道路改良起債事業1億1,783万5千円などです。

## 〈翌年度への繰越事業〉

賦課徴収事業264万円、スポーツ振興事業明許繰越85万円、村道改良国庫補助事業1億230万円、村営住宅管理事業800万円、スポーツ振興事業(事故繰越)275万円

(単位：千円、%)

	令和元年度	令和2年度		
	決算額	決算額	構成比	増減率
人件費	958,216	1,037,185	13.8	8.2
物件費	927,563	951,991	12.6	2.6
維持補修費	195,436	360,357	4.8	84.4
扶助費	333,035	358,436	4.8	7.6
補助費	1,675,427	2,591,052	34.4	54.7
公債費	614,658	638,095	8.5	3.8
積立金	341,636	471,751	6.3	38.1
投資・出資・貸付金	20,000	20,000	0.3	0.0
繰出金	364,850	362,209	4.8	△ 0.7
普通建設事業費	832,594	700,082	9.3	△ 15.9
災害復旧費	45,044	32,983	0.4	△ 26.8
計	6,308,459	7,524,141	100.0	19.3

